

議会報告

熊谷市議会議員

こしづか なほこ

多様性を大切にするまちへ

こしづか なほこ 
〒360-0824 熊谷市見晴町244
Tel 080-6647-4296

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

コロナ禍だからこそ対話を

コロナ禍も、3年目に入りました。
新しい生活様式が定着しつつ
ある今、感じていることがあります。
それは、リアルに人と関わることで
その人の発する熱量や信念、言葉
にならない想いに、相互に触れ
合っていたのだと……。このよ様な
時だからこそ、感染症対策に万全
を期し、ひとりひとりの対話を
通して、このまちの課題を把握し
共に知恵を出し合い、市民福祉
の向上を目指して、活動して
まいります。

2022年春 腰塚菜穂子



市政に関する一般質問を行う



議案に対する質疑を行う



市民への議会報告会を開催

一般会計 対前年度比27億円増 過去最大の690億円に —財源をどう賄ったのか!? おさいふの中を見よう!!—

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分	本年度予算額		前年度(当初)予算額		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
① 1市税	29,302,397	42.47	27,681,769	41.75	1,620,628	5.85
2地方譲与税	581,090	0.84	556,297	0.84	24,793	4.46
3利子割交付金	19,000	0.03	18,000	0.03	1,000	5.56
4配当割交付金	90,000	0.13	70,000	0.11	20,000	28.57
5株式等譲渡所得割交付金	70,000	0.10	50,000	0.07	20,000	40.00
6法人事業税交付金	440,000	0.64	240,000	0.36	200,000	83.33
7地方消費税交付金	4,600,000	6.66	4,500,000	6.79	100,000	2.22
8ゴルフ場利用税交付金	60,000	0.09	50,000	0.07	10,000	20.00
9環境性能割交付金	100,000	0.14	70,000	0.11	30,000	42.86
10地方特例交付金	150,000	0.22	180,000	0.27	△ 30,000	△ 16.67
② 11地方交付税	4,000,000	5.80	3,600,000	5.43	400,000	11.11
12交通安全対策特別交付金	30,000	0.04	30,000	0.05	0	0.00
13分担金及び負担金	359,846	0.52	351,064	0.53	8,782	2.50
14使用料及び手数料	678,271	0.98	710,903	1.07	△ 32,632	△ 4.59
15国庫支出金	12,208,356	17.69	11,052,014	16.67	1,156,342	10.46
16県支出金	5,346,434	7.75	5,021,249	7.57	325,185	6.48
17財産収入	93,919	0.14	90,434	0.14	3,485	3.85
18寄附金	1	0.00	1	0.00	0	0.00
③ 19繰入金	3,129,804	4.54	3,376,268	5.09	△ 246,464	△ 7.30
20繰越金	1,000,000	1.45	1,000,000	1.51	0	0.00
21諸収入	2,726,482	3.95	2,725,301	4.11	1,181	0.04
④ 22市債	4,014,400	5.82	4,926,700	7.43	△ 912,300	△ 18.52
⑤ 歳入合計	69,000,000	100.00	66,300,000	100.00	2,700,000	4.07

POINT 1.

家計で言うとお給料にあたる『市税』は、製造業等を中心とした企業収益が回復傾向にあることから、法人市民税や個人市民税の増収を見込み、前年度の予算額と比較して約16億円の増収を見込んでいます。

POINT 2.

家計で言うとお親からの仕送りにあたる『地方交付税』は、国の地方財政計画を踏まえて、前年度の予算額と比較して4億円の増を見込んでいます。

POINT 3.

家計で言うとお貯金からの取り崩しにあたる『繰入金』は、財源不足に対応するためのものですが、市税、地方交付税ともに増額を見込むため、前年度の予算と比較して約2億円少ない額を見込んでいます。

POINT 4.

家計で言うとお住宅ローンなどの借金にあたる『市債』は、後ほど国が賄う特別な仕組みである臨時財政対策債の発行可能額を、国の地方財政計画を踏まえて、前年度の予算額と比較し12億円の減少を見込むなど、市債全体では対前年度比で約9億円の減を見込みます。

POINT 5.

家計収入全体の額にあたる『歳入合計』は、前年度の予算と比較して4.07%、額にして27億円の増、過去最大の690億円を見込んでいます。これは、ワクチン接種などのコロナ対策やデジタル化の推進、また、公共施設の再編や生活道路の整備等へ重点配分しているためです。

3月議会 一般質問と重要議案への質疑

通算連続28回目の一般質問 紙面の都合にて全体の一部の掲載

正規職員、増員の方向へ

職員定員管理の状況について —新たな行政課題等へ的確に対応するために—

Q (こしづか)定員管理における適正な職員数についての基本的考え方は。

A (職員課)第1次熊谷市総合振興計画において「めざそう値」として設定した消防職員を除く職員数1,100人を、定員管理にあたっての一つの目安として考えている。

Q 本市職員数の現状について。

A 平成19年4月時点では1,337人、第2次熊谷市行政改革大綱の計画期間初年度である25年度は1,157人、同最終年度の29年度は1,094人を達成。その後は、30年度1,092人、31年度1,089人、令和2年度1,084人、3年度1,080人と引き続き漸減傾向で推移。なお、令和元年度時点での人口1,000人当たりの職員数を比較すると、本市は6.22人で、全国平均8.03人、埼玉県平均6.58人を下回っている状況。

Q 社会経済情勢の変化に伴う新たな行政課題への対応等、事務量増加に対しての現状認識は。

A 新たな行政課題への対応や、突発的な事案への対応等により、事務量は増加しているものと認識している。特にコロナ禍においては、各種給付金の支給や、ワクチン接種全般にかかる業務に加え、自宅療養者への生活支援やコールセンター、予約サポートなど追加の人員配置が必要となり、その都度、兼務職員の配置や全庁的な応援態勢により対応してきたところ。

Q 現状を踏まえ、職員数の目安とされた1,100人に戻していく必要があると考えるが、今後の定員管理の方向性は。

A 現状では、必要な職員数が確保できているとは言い難い状況のため、1,100人を定員管理の一つの目安として、増員する方向で取り組んでいきたいと考えている。

熊谷市が来月から副市長を2人に
条例改正案を可決
熊谷市は四月一日から、副市長を現行の一人から二人に増やす。二月二十八日に開会した市議会定例会に条例改正案が上程され、全議員賛成で可決された。具体的な人事案は議会最終日の三月十八日に市から提案され、採決される。

Q (こしづか)目的は何か。現行の1人制であることに對して、どのような課題認識を持っているのか。

A (市長)政策理念として7つの基本政策からなる「新熊谷プライドの創造」を掲げ、これらの諸施策の実現や、円滑な市政運営の確保のため。また、社会基盤の整備等、様々な多くの課題を解決していく必要があり、それらをスピード感をもって迅速に決断していくためには、専門的な分野とそれ以外の分野とを、それぞれの副市長に役割分担してもらうことが有効と考える。

Q 2人制とすることで、このまちの発展と市民福祉の向上に、具体的にはどのようなカタチで資するものとするか。期待される成果について伺う。

A 「新熊谷プライドの創造」の中では、首都高速道路に接続する地域高規格道路の熊谷まで延伸や、利根川新橋の実現を目指すこと、併せて周辺地域とのアクセス向上を掲げた。その他、県市の共同事業である北部地域振興交流拠点や荒川公園周辺再整備等、今後、取り組みを加速させていかなければならない施策が多くある。これら将来の熊谷を見据えた大規模な施策を円滑に進めていくためには、国等との対外的な交渉ネットワークが重要と考える。そこで、役割分担を図った上で、これらの役割を国から招く新たな副市長に担って頂きたいと考えている。

Q 2人の役割分担をどのように考えているのか。

A 新たに国から招く副市長の所管事務としては、主に、建設部、都市整備部及び上下水道部に関する事務を考えている。その他、国の施策に関連するものとして、スマートシティをはじめ、利根川新橋、北部地域振興交流拠点、荒川公園周辺の再整備、道の駅くまがやとソシオ流通センター駅周辺の開発を推進する東部地域開発などの事業を特命事項としてお願いする予定。

Q 経費負担は概ねどのくらいか。

A 副市長1人分の給与として、給料のほか、地域手当や期末手当を含めて、年間約1,370万円と見込んでいる。

視察・研修・市主催の行事など...

こしづか
なほこの

活動報告

議員としての資質向上に
努めて参ります!!



同期の議員とコワーキングスペースを視察



障害者団体のイベントにてご挨拶



議会報告会にて意見交換を行う



早朝駅立ちにて議会報告を配布



政策研修へ参加



農業委員として農地パトロールを実施



議員仲間と政策勉強会



市主催の式典へ出席

地域の皆様の要望が実現しました!!



注意喚起の看板を設置



ミラーを新たに設置



路側帯の白線を引き直し